

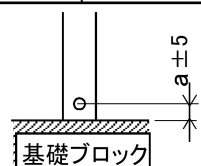
①柱の位置を決め、基礎を設置します。

- 柱間隔は柱芯々2000mmに割付けてください。

②柱を建てます。

●基礎寸法及び埋め込み深さ

型式	寸法 フェンス高さ (mm)	基礎寸法 G1×G2×G3(mm)	埋込寸法 B(mm)	寸法 a(mm)
H1100	1100	350×350×450	170	75
H1200	1200	350×350×450	170	75
H1500	1500	350×350×450	220	75
H1800	1800	350×350×450	270	75



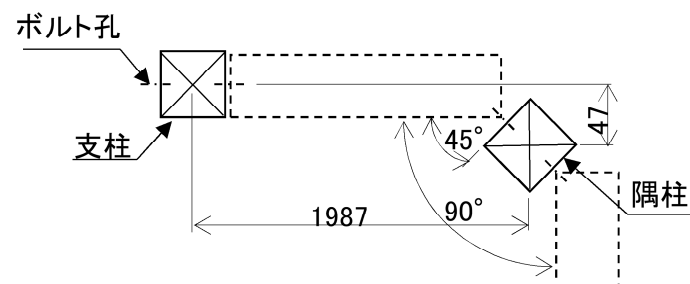
※支柱の最下部の貫通孔中心と基礎ブロックの距離a寸法が±5mmになるように支柱の高さを調整してください。

ここで、寸法aは下胴縁と基礎ブロック間を100mmとした場合の値で

●隅部の配置

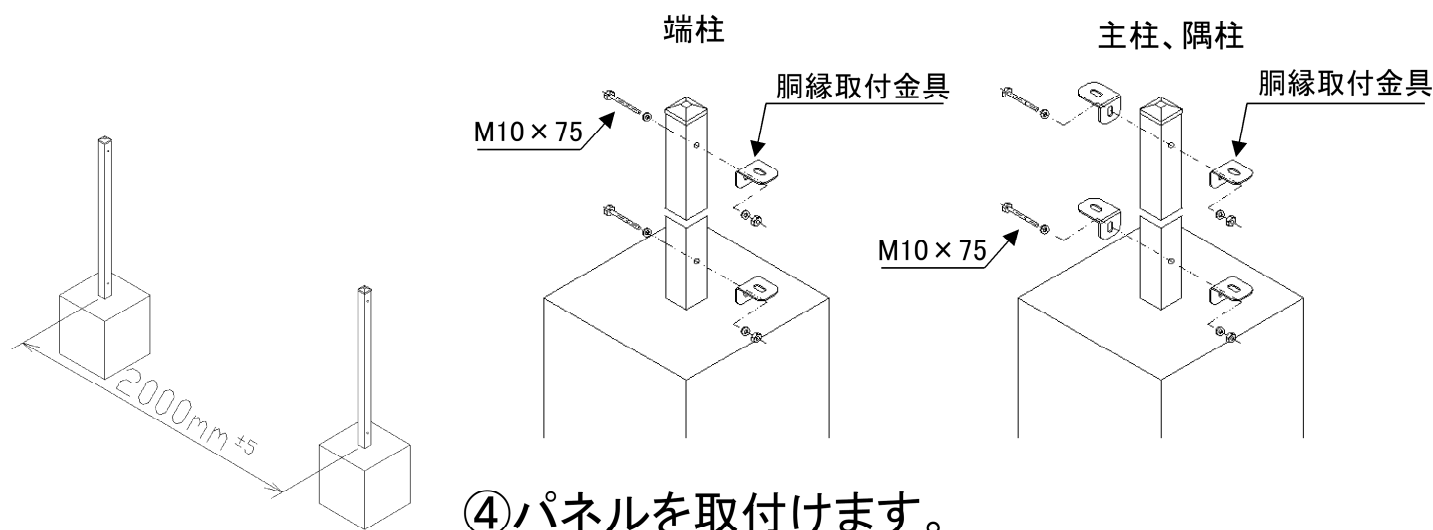
- ※隅柱は軸芯より1/2角度を振り向けて設置してください。
- 注) 柱スパン、延長の垂直方向位置が異なります。

下図は参考90度の場合



③胴縁取付金具を取付ます。

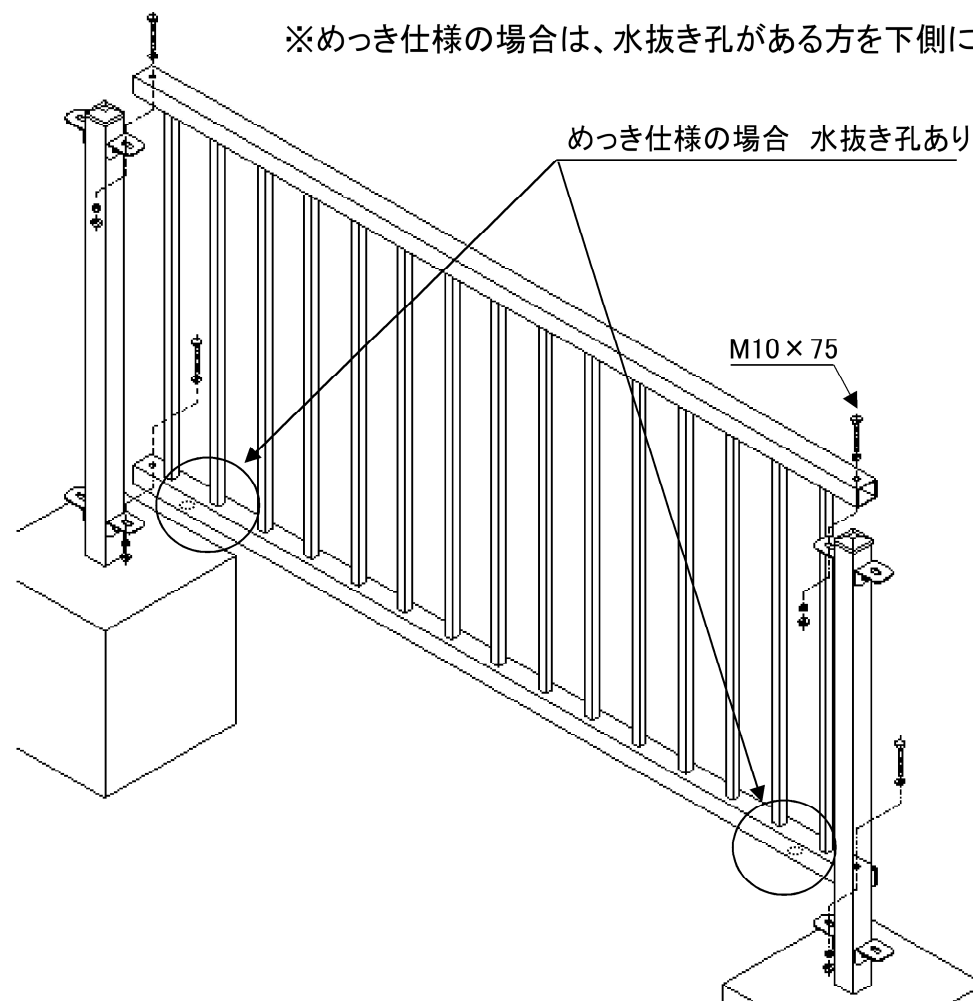
- ※胴縁金具は方向性があります。
- 高さ50mm面の刃側を下に向けて取付けます。



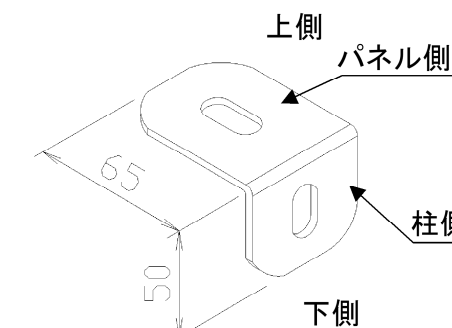
※ボルト孔はフェンス延長方向になるように設置してください。

④パネルを取付けます。

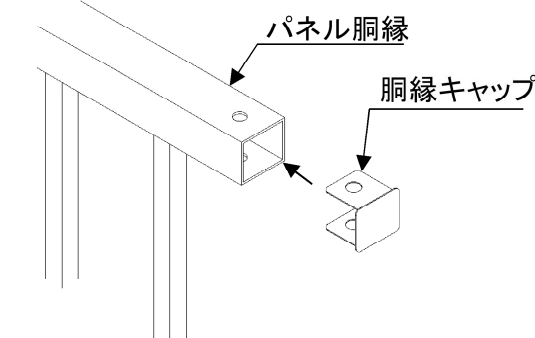
- ※めっき仕様の場合は、水抜き孔がある方を下側にします。



胴縁取付金具

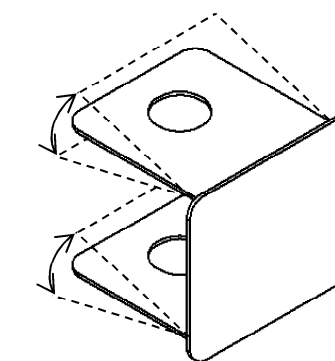


隅部の場合



隅柱側のパネル胴縁部に、あらかじめ胴縁キャップを差し込みます。(上下とも)

注) ボルトを通すので、キャップの方向性あります。



※胴縁キャップが差し込みづらい場合は、手で調整してください。

部品数量表

積雪型角パイプフェンス SP-CK型

品名		寸法・記号	形状	数量	
				各サイズ共通	
主柱	①	胴縁取付金具	65×50×3.2		4
	②	胴縁取付金具ボルト	M10×75 (1N2W)		2
	③	パネル取付ボルト	M10×75 (1N2W)		4
端柱	①	胴縁取付金具	65×50×3.2		2
	②	胴縁取付金具ボルト	M10×75 (1N2W)		2
	③	パネル取付ボルト	M10×75 (1N2W)		2
端柱	①	胴縁取付金具	65×50×3.2		4
	②	胴縁取付金具ボルト	M10×75 (1N2W)		2
	③	パネル取付ボルト	M10×75 (1N2W)		4
	④	胴縁キャップ	□50用		4



注意

●施工注意点

①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。

②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より10mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。

③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。

④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。

⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

●取扱い注意点

①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。

JFE 建材 株式会社

積雪型角パイプフェンス SP-CKN型 (北海道仕様)

組立説明書

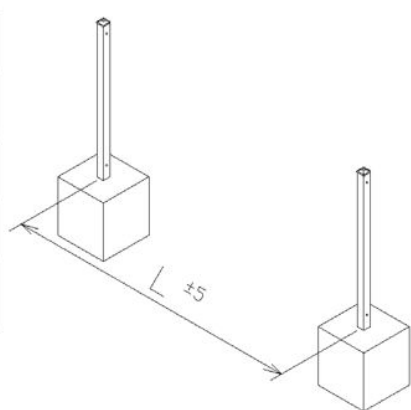
①柱の位置を決め、基礎を設置します。

●柱間隔は下表を参照して、所定のスパンに割付けてください。

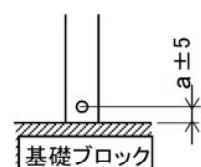
②柱を建てます。

●基礎寸法及び埋め込み深さ

寸法 型式	フェンス高さ (mm)	柱スパン L(mm)	基礎寸法 G1×G2×G3(mm)	埋込寸法 B(mm)	寸法 a(mm)
H1100	1100	2000	400×400×400	400	75
H1200	1200	2000	400×400×400	400	75
H1500	1500	2000	400×400×400	400	75
H1800	1800	2000	400×400×400	400	75



※ボルト孔はフェンス延長方向になるように設置してください。



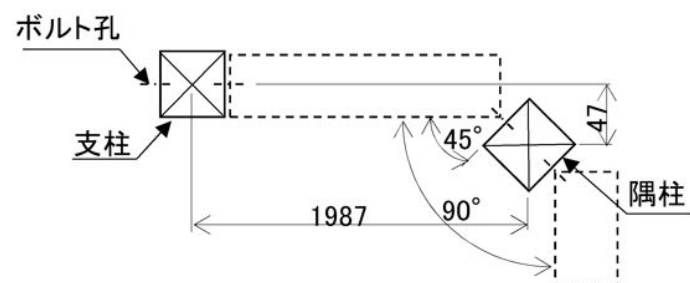
※支柱の最下部の貫通孔中心と基礎ブロックの距離a寸法が±5mmになるように支柱の高さを調節してください。

ここで、寸法aは下胴縁と基礎ブロック間を100mmとした場合の値です。

●隅部の配置

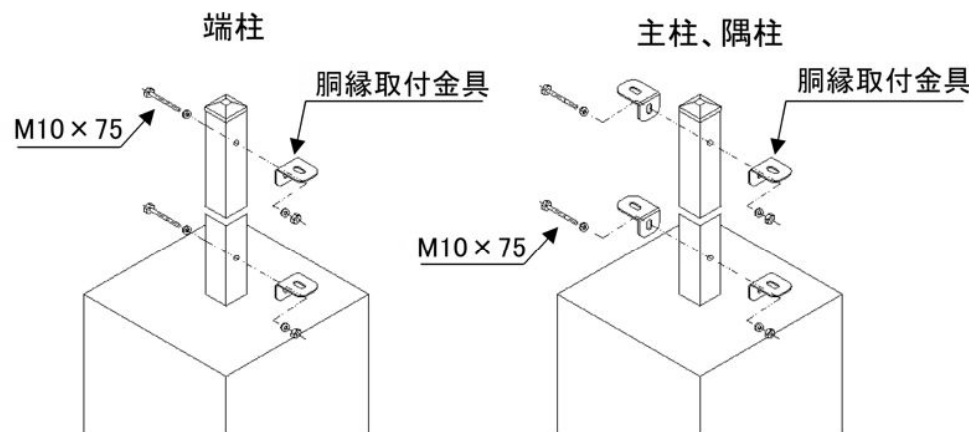
※隅柱は軸芯より1/2角度を振り向けて設置してください。
注)柱スパン、延長の垂直方向位置が異なります。

下図は参考90度の場合

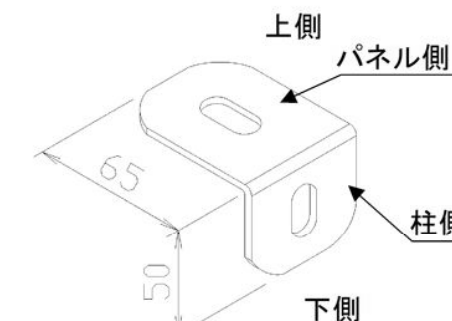


③胴縁取付金具を取付ます。

※胴縁金具は方向性があります。
高さ50mm面の刃側を下に向けて取付けます。

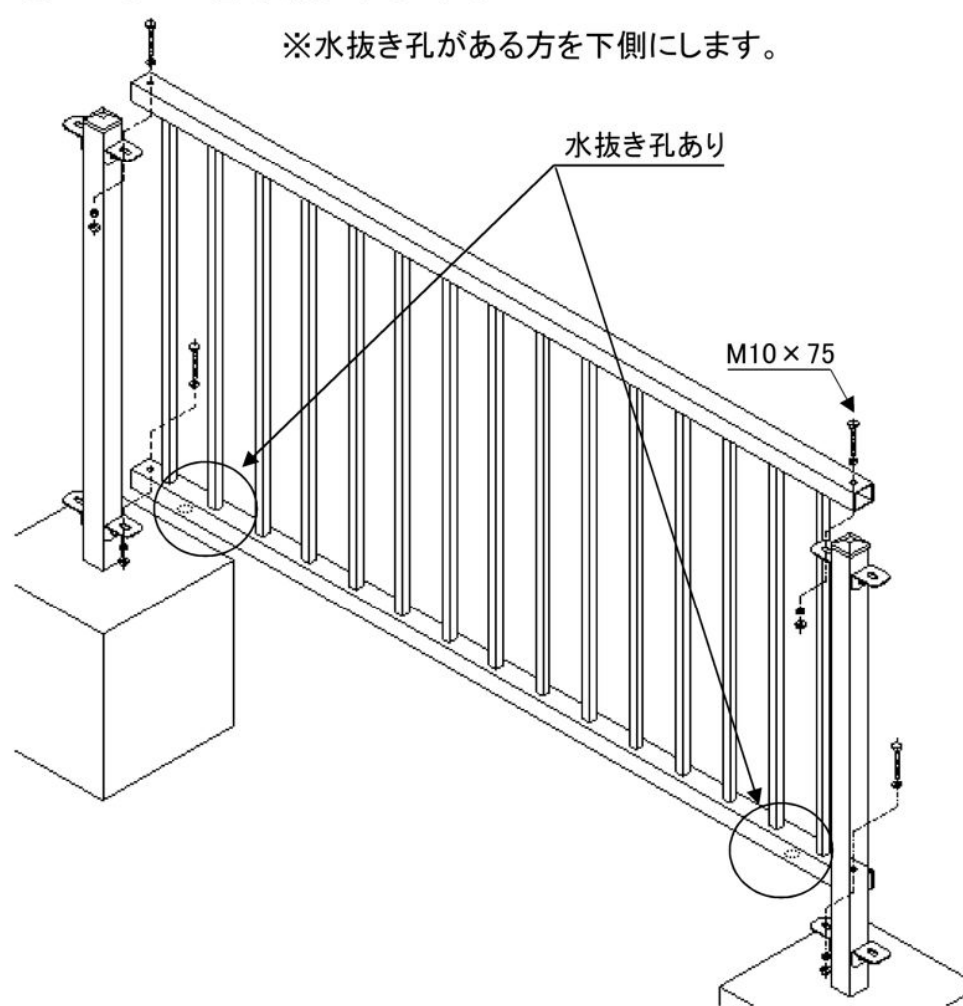


胴縁取付金具

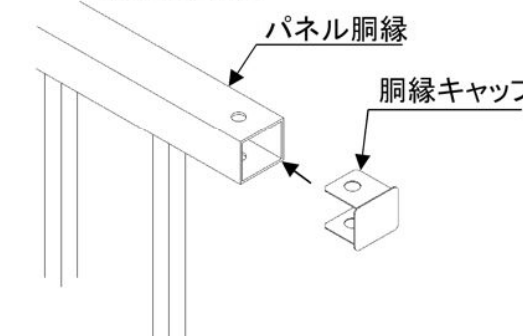


④パネルを取付けます。

※水抜き孔がある方を下側にします。

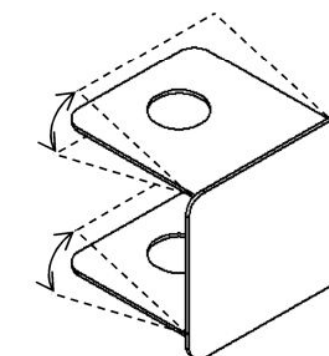


隅部の場合



隅柱側のパネル胴縁部に、あらかじめ胴縁キャップを差し込みます。(上下とも)

注)ボルトを通すので、キャップの方向性あります。



※胴縁キャップが差し込みづらい場合は、手で調整してください。

部品数量表

積雪型角パイプフェンス SP-CK型

品名		寸法・記号	形状	数量	
				各サイズ共通	
主柱	①	胴縁取付金具	65×50×3.2		4
	②	胴縁取付金具ボルト	M10×75 (1N2W)		2
	③	パネル取付ボルト	M10×75 (1N2W)		4
端柱	①	胴縁取付金具	65×50×3.2		2
	②	胴縁取付金具ボルト	M10×75 (1N2W)		2
	③	パネル取付ボルト	M10×75 (1N2W)		2
端柱	①	胴縁取付金具	65×50×3.2		4
	②	胴縁取付金具ボルト	M10×75 (1N2W)		2
	③	パネル取付ボルト	M10×75 (1N2W)		4
	④	胴縁キャップ	□50用		4



注意

●施工注意点

①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。

②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より10mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。

③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。

④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。

⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

●取扱い注意点

①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。

JFE 建材 株式会社